

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場取引所 東大

上場会社名 タイガースポリマー株式会社

コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤田 博行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 渡辺 健太郎

TEL 06-6871-8060

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	25,694	—	814	—	858	—	195	—
20年3月期第3四半期	25,900	10.9	1,411	△2.1	1,506	2.8	699	△0.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	9.75	—
20年3月期第3四半期	34.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第3四半期	27,449	69.6	19,773	69.6	69.6	954.77
20年3月期	29,682	68.7	21,042	68.7	68.7	1,019.20

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 19,110百万円 20年3月期 20,401百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,100	△8.5	600	△53.8	650	△50.0	200	△60.0	9.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 20,111,598株 20年3月期 20,111,598株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 95,664株 20年3月期 94,534株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 20,016,503株 20年3月期第3四半期 20,017,757株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における当社グループの業績は、原材料価格の高止まりのほか、10月以降は米国発の金融危機に伴う世界的な景気の悪化の影響を受けることとなり、売上高256億94百万円（前年同期比0.8%減少）、営業利益8億14百万円（前年同期比42.3%減少）、経常利益8億58百万円（前年同期比43.0%減少）、四半期純利益1億95百万円（前年同期比72.1%減少）と減収減益となりました。

なお、当連結会計年度より四半期会計基準を適用しているため、前年同期比については参考として記載しております。

部門別の状況

ホース部門は、国内では家電用ホースが増加しましたが、産業用ホースは住宅用・機械設備用ホースの不振により減少しました。海外では、米国で生産する産業用ホースが円高による為替の影響により減少したほか、マレーシア及び中国で生産する家電用ホースが減少しました。この結果、ホース部門全体の売上高は、65億63百万円（前年同期比4.9%減少）となりました。

ゴムシート部門は、玄関用マットは堅調に推移しましたが、国内の景気減速を受けて設備投資が低迷したこと等により、汎用のシートは大きく減少しました。この結果、ゴムシート部門全体の売上高は、39億87百万円（前年同期比5.7%減少）となりました。

成形品部門は、国内では主力の自動車部品の需要が秋口から下降局面に転じ、海外では円高による為替の影響を受けましたが、主として中国において比較的好調に推移しました。この結果、成形品部門全体の売上高は、141億75百万円（前年同期比3.1%増加）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、153億94百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少5億41百万円、受取手形及び売掛金の減少3億83百万円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて10.7%減少し、120億54百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少11億55百万円、投資その他の資産の減少2億82百万円等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、274億49百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、66億14百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億75百万円、賞与引当金の減少2億30百万円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.6%減少し、10億61百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少1億50百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し、197億73百万円となりました。主な要因は、為替換算の影響による為替換算調整勘定の減少10億4百万円等によるものであります。この結果、1株当たり純資産は954円77銭、自己資本比率は69.6%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ6億66百万円減少し、37億59百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、12億20百万円（前年同期比32.4%減少）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益6億90百万円、減価償却費15億94百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額2億48百万円、仕入債務の減少額2億52百万円、法人税等の支払額3億30百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は、14億23百万円（前年同期比51.9%減少）となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出4億68百万円、有形・無形固定資産取得による支出11億26百万円等であります。

財務活動の結果支出した資金は、2億42百万円（前年同期比2億59百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の借入14億50百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済11億50百万円、長期借入金の返済3億円、配当金の支払額2億40百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、米国に端を発した金融危機が实体经济へ深刻な影響を及ぼしており、自動車部品等の需要の減少が見込まれること、さらには急激な為替変動による円高が進んだこと等により、平成20年10月30日に発表しました通期の業績予想を下回る見込みとなったため、本日発表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通り修正いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計基準等の改正に伴う変更）

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この結果、従来の方によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ14百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は76百万円減少しております。

③ 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,791	5,333
受取手形及び売掛金	7,094	7,478
商品	261	254
製品	1,284	1,179
原材料	1,018	955
仕掛品	220	264
貯蔵品	87	94
繰延税金資産	77	294
その他	579	352
貸倒引当金	△21	△30
流動資産合計	15,394	16,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,231	8,271
減価償却累計額	△4,551	△4,478
建物及び構築物(純額)	3,680	3,793
機械装置及び運搬具	18,364	19,039
減価償却累計額	△14,803	△14,845
機械装置及び運搬具(純額)	3,560	4,193
工具、器具及び備品	5,792	5,571
減価償却累計額	△5,016	△4,711
工具、器具及び備品(純額)	775	860
土地	1,652	1,536
建設仮勘定	601	1,041
有形固定資産合計	10,270	11,425
無形固定資産	281	293
投資その他の資産		
投資有価証券	1,089	1,509
繰延税金資産	169	55
その他	250	231
貸倒引当金	△6	△11
投資その他の資産合計	1,503	1,785
固定資産合計	12,054	13,505
資産合計	27,449	29,682

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,476	3,852
短期借入金	1,150	850
1年内返済予定の長期借入金	150	300
未払金	1,153	1,352
未払法人税等	39	165
賞与引当金	124	355
役員賞与引当金	30	39
その他	489	496
流動負債合計	6,614	7,412
固定負債		
長期借入金	—	150
退職給付引当金	688	499
役員退職慰労引当金	241	230
繰延税金負債	19	97
その他	112	250
固定負債合計	1,061	1,227
負債合計	7,675	8,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	11,338	11,383
自己株式	△51	△50
株主資本合計	19,337	19,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109	350
為替換算調整勘定	△336	667
評価・換算差額等合計	△227	1,017
少数株主持分	662	640
純資産合計	19,773	21,042
負債純資産合計	27,449	29,682

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	25,694
売上原価	21,196
売上総利益	4,498
販売費及び一般管理費	3,684
営業利益	814
営業外収益	
受取利息	29
受取配当金	30
不動産賃貸料	19
その他	41
営業外収益合計	121
営業外費用	
支払利息	15
不動産賃貸原価	3
為替差損	47
その他	9
営業外費用合計	77
経常利益	858
特別利益	
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入額	4
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産売却損	8
固定資産除却損	23
減損損失	11
投資有価証券評価損	38
たな卸資産評価損	90
特別損失合計	172
税金等調整前四半期純利益	690
法人税、住民税及び事業税	226
法人税等調整額	181
法人税等合計	408
少数株主利益	86
四半期純利益	195

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	690
減価償却費	1,594
減損損失	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9
受取利息及び受取配当金	△60
支払利息	15
為替差損益 (△は益)	21
投資有価証券評価損益 (△は益)	38
固定資産売却損益 (△は益)	8
固定資産除却損	23
売上債権の増減額 (△は増加)	180
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△248
仕入債務の増減額 (△は減少)	△252
その他	△495
小計	1,505
利息及び配当金の受取額	60
利息の支払額	△15
法人税等の支払額	△330
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△468
定期預金の払戻による収入	300
有価証券の取得による支出	△81
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,126
有形及び無形固定資産の売却による収入	2
投資有価証券の取得による支出	△7
その他	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,423

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,450
短期借入金の返済による支出	△1,150
長期借入金の返済による支出	△300
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△240
少数株主への配当金の支払額	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△666
現金及び現金同等物の期首残高	4,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,759

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	15,451	6,983	3,259	25,694	—	25,694
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	649	4	580	1,234	(1,234)	—
計	16,100	6,987	3,840	26,928	(1,234)	25,694
営業利益又は営業損失(△)	△5	34	445	474	339	814

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

3 会計処理の方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で14百万円増加しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	6,972	3,301	10,274
II 連結売上高			25,694
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.1	12.9	40.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前第3四半期に係る財務諸表等

(1) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金 額	百分比
I 売上高	25,900	100.0
II 売上原価	20,759	80.1
売上総利益	5,141	19.9
III 販売費及び一般管理費	3,729	14.4
営業利益	1,411	5.5
IV 営業外収益	136	0.5
1 受取利息	57	
2 受取配当金	25	
3 不動産等賃貸料収入	19	
4 その他	34	
V 営業外費用	41	0.2
1 支払利息	12	
2 不動産等賃貸料原価	4	
3 為替差損	16	
4 その他	8	
経常利益	1,506	5.8
VI 特別利益	5	0.0
1 固定資産売却益	0	
2 投資有価証券売却益	4	
VII 特別損失	40	0.1
1 固定資産除却損	36	
2 投資有価証券評価損	3	
税金等調整前四半期純利益	1,471	5.7
税金費用	653	2.5
少数株主利益	117	0.5
四半期純利益	699	2.7

(2) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,471
減価償却費	1,568
貸倒引当金の増減額	10
受取利息及び受取配当金	△ 82
支払利息	12
売上債権の増減額	△ 271
たな卸資産の増減額	132
仕入債務の増減額	37
その他	△ 73
小計	2,805
利息及び配当金の受取額	84
利息の支払額	△ 14
法人税等の支払額	△ 1,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,807
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額	△ 512
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 2,428
有形・無形固定資産の売却による収入	10
投資有価証券の取得による支出	△ 59
投資有価証券の売却による収入	8
その他	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,958
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	300
配当金の支払額	△ 280
その他	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	17
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 70
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,203
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,226
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,022

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	15,746	6,900	3,253	25,900	—	25,900
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	1,115	5	443	1,564	(1,564)	—
計	16,861	6,905	3,697	27,464	(1,564)	25,900
営業利益	514	202	422	1,139	272	1,411

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	6,875	3,318	10,193
II 連結売上高			25,900
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.6	12.8	39.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。